

PAT-NO: JP02004154102A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2004154102 A

TITLE: SIMPLE FROZEN DESSERT EXTRACTING APPARATUS

PUBN-DATE: June 3, 2004

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAO, HAJIME

KOBAYASHI, SEIICHI

COUNTRY

N/A

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

EFOOTO KK

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP2002355954

APPL-DATE: November 5, 2002

INT-CL (IPC): A23G009/28

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a simple frozen dessert extracting apparatus intended for solving such items that a simple production machine for soft cream or ice cream for ordinary homes is complicated in material procurement, assembly of equipments, freezing and the like, has difficulty in quickly dealing in timing of a want of eating and requires exceedingly great labor and trouble for cleaning up after.

SOLUTION: This simple frozen dessert extracting apparatus is such that soft ice cream or ice cream is filled in a bag container such as of plastics, frozen, thawed and softened with e.g. a microwave oven up to an appropriate temperature, and a manual handle is rotated so as to extract the soft cream or

the ice cream from the bag container.

COPYRIGHT: (C) 2004, JPO

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-154102

(P2004-154102A)

(43) 公開日 平成16年6月3日(2004.6.3)

(51) Int.Cl.⁷

A23G 9/28

F1

A23G 9/28

テーマコード(参考)

4B014

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2002-355954 (P2002-355954)
(22) 出願日 平成14年11月5日(2002.11.5)(71) 出願人 399043576
エフォート株式会社
東京都中央区築地4-3-8 登喜和ビル
7階
(72) 発明者 奈尾 一
兵庫県飾磨郡夢前町寺1824-20 株
式会社テクノスクリエイト内
(72) 発明者 小林 誠一
東京都中央区築地4-3-8 エフォート
株式会社内
Fターム(参考) 4B014 GB18 GB22 GQ10 GQ12 GT06
GT09 GT11 GT21 GU08

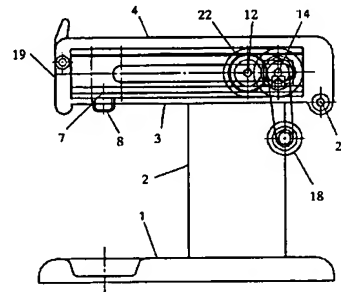
(54) 【発明の名称】 簡易冷菓抽出装置

(57) 【要約】

【課題】一般家庭向けのソフトクリーム、アイスクリームの簡易製造機は材料調達、機器の組立、冷凍等煩雑であり、食したいタイミングにすばやく対応することが困難であり、後始末にも非常に大きな労力と手間を必要としていた。

【解決手段】ソフトクリーム、アイスクリームをプラスチック製の袋体容器に充填、冷凍し、適温まで電子レンジ等で解凍軟化させた後、手動ハンドルを回転させることにより袋体容器内のソフトクリーム、アイスクリームを抽出可能とした。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

袋体容器に充填された冷菓を半解凍し抽出台に水平に固定すると共に、袋体容器の抽出口より遠い部位より回転ローラの移動により袋体容器内の冷菓を抽出することを特徴とした簡易冷菓抽出装置。

【請求項 2】

抽出回転ローラに平歯車を固定し抽出台に平歯車と噛み合わせるラックを設け回転ローラを直接又は間接的に回転させることにより回転ローラを移動せしめることを特徴とした簡易冷菓抽出装置。

【発明の詳細な説明】

10

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、冷凍されたソフトクリーム、アイスクリーム等の冷菓を抽出する家庭用簡易冷菓抽出装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、家庭用として提供されているソフトクリーム、アイスクリーム等、冷菓を袋体容器より抽出する装置は前例がなく、冷凍した容器の中に冷菓となる牛乳、タマゴ、砂糖等の材料を混合、手動攪拌し15～20分後に容器から取り出す方式が主である。

【0003】

20

【発明が解決しようとする課題】

ソフトクリーム、アイスクリーム等の冷菓を家庭で作る際の煩雑な前工程や労力及び後始末等を簡便化し、少なくとも数分以内に冷菓を食することを可能とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

本発明における簡易冷菓抽出装置は、所定の袋体容器にソフトクリーム、アイスクリーム等が充填、冷凍されたパックを使用する。冷凍された袋体容器を電子レンジ等で-20℃以下より-5℃～-10℃前後に解凍する。解凍軟化したパックを本発明の抽出装置の抽出台にセットし、抽出回転ローラを手動にて回転させ抽出する方式とした。

【0005】

30

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施例を図面に基づいて記述する。図1は実施例の側面図を示し、図2は正面透視図、図3に袋体容器を示す。

【0006】

本発明の装置構成は図1に示す如くベース台座1、支柱2、抽出台ユニット3、及び抽出回転ローラユニット4により構成されている。抽出台ユニット3には、抽出台6が設けられている。抽出口7には清掃を容易に行うための取り外し可能な抽出筒8が取り付けられている。更に、抽出台6の抽出口7の遠い部位に袋体容器15の抽出台6に対する位置を決めるパイロットピン9を具備している。

【0007】

40

一方、抽出回転ローラユニット4には回転ローラ10と、両端に歯車11を固定した抽出回転ローラ軸12と、歯車11と連結して歯車13を両端に具備した駆動軸14を具備している。歯車11と歯車13はガイド板22にて軸間距離を保持すると同時にガイド板15がユニット台16のガイド面17に沿って移動するため、抽出回転ローラ軸12と駆動軸14自体の回転を防止している。駆動軸14は回転ハンドル18が着脱可能な長さまでガイド板22より突出している。

【0008】

図4に抽出回転ローラユニット4の開状態を示す。開状態とするためには、ロックファスナー19のレバーのロックを解除すると、抽出台ユニット3の回転支点20を中心に矢印B方向に抽出回転ローラユニット4が回転し抽出台6が開放される。図3に示す袋体容器

50

１５のパイロットピン穴２３を抽出台６のパイロットピン９に差し込む。

【０００９】

抽出台６に袋体容器１５がセットされると、開状態になっている回転ローラユニット４を、図４に示す矢印Ａ方向に回転させロックファスナー１９のレバーを操作し抽出台６に固定ロックする。回転ハンドル１８を時計方向に回転させると歯車１１はラック５に沿って抽出口７へ向って回転しながら進み、同時に袋体容器１５に充填され適温に解凍されて図３に示す冷菓２１を抽出口７に向って絞り出す。図５に抽出動作の過程を示す。

【発明の効果】

以上、実施例から明らかなように、本発明の簡易冷菓抽出装置は、従来、最も煩雑だった材料調達、一部機器の冷凍及び長時間の攪拌作業等を皆無にした。

10

【図面の簡単な説明】

【図１】実施例側面図

【図２】実施例正面透視図

【図３】袋体容器

【図４】抽出回転ローラユニットの開状態図

【図５】抽出過程図

【符号の説明】

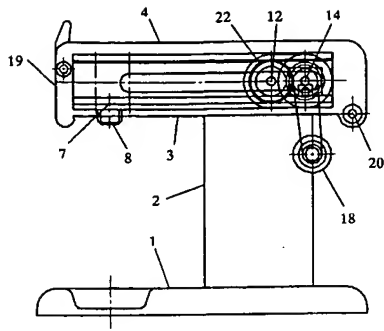
- (１) ベース台座
- (２) 支柱
- (３) 抽出台ユニット
- (４) 抽出回転ローラユニット
- (５) ラック
- (６) 抽出台
- (７) 抽出口
- (８) 抽出筒
- (９) パイロットピン
- (１０) 回転ローラ
- (１１) 歯車
- (１２) 抽出回転ローラ軸
- (１３) 歯車
- (１４) 駆動軸
- (１５) 袋体容器
- (１６) ユニット台
- (１７) ガイド面
- (１８) 回転ハンドル
- (１９) ロックファスナー
- (２０) 回転支点
- (２１) 冷菓
- (２２) ガイド板
- (２３) パイロットピン穴

20

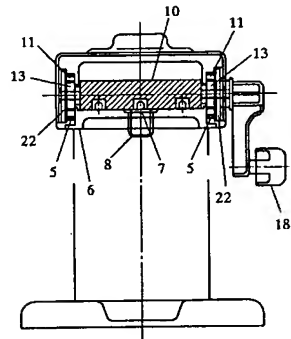
30

40

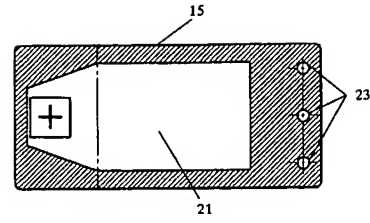
【図 1】



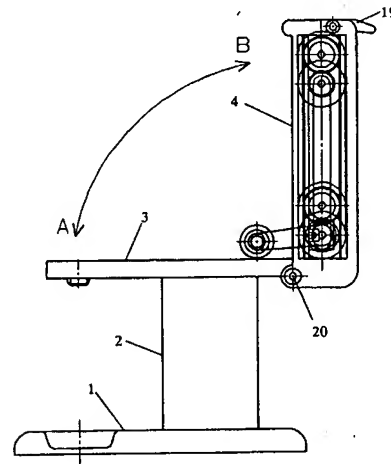
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

